

令和4年11月県議会の結果について

教育政策課

1 日時

11月30日（水）～12月16日（金） 17日間
一般質問 12月6日（火）～12月9日（金） 4日間
委員会 12月12日（月）、13日（火） 2日間

2 教育委員会関係の議案等

- (1) 令和4年度長野県一般会計補正予算（第4号）案 原案どおり可決
（主な事業）
 - ・ 県有施設原油価格等高騰対策事業費
 - ・ 県立高校空調設備整備事業費（債務負担行為）

- (2) 条例案
 - ・ 長野県学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案 原案どおり可決

- (3) 事件案
 - ・ 指定管理者の指定について 原案どおり可決
 - ・ 指定管理者の指定について 原案どおり可決

- (4) 専決処分
 - ・ 交通事故に係る損害賠償の専決処分 報告
 - ・ 高等学校管理中の事故に係る損害賠償の専決処分 報告

- (5) 令和4年度長野県一般会計補正予算（第5号）案 原案どおり可決
（主な事業）
 - ・ 特別支援学校教室増設事業費
 - ・ こどもの安全・安心対策推進事業費
 - ・ 地域スポーツ・文化クラブ活動体制整備事業補助金

3 一般質問の概要

一般質問を行った32人の議員のうち11人の議員から教育委員会関係について質問があった。

- (1) 主な質問項目
 - ・ 県立高校の災害時設備及び備蓄について
 - ・ 新校再編実施計画懇話会の委員構成について
 - ・ 不登校児童生徒への対応について
 - ・ 教員の負担軽減について
 - ・ 教員不足について
 - ・ 高校改革 再編・整備計画【三次】案について
 - ・ 地域に若者が残るための教育姿勢について

- ・子どもに対する心理的虐待への対応について
- ・県立武道館の指定管理者が行う自主事業について
- ・国民スポーツ大会の準備の推進について

(2) 主な議論の内容

- ・県立高校における帰宅困難生徒用、及び、教員用の備蓄についての質問に対し、生徒用の備蓄については、他県や先進校の例を参考に、備蓄を進めるための具体的な方策を各学校とともに検討していくと答弁し、教員用の備蓄については、方法等について今後研究していくと答弁した。
- ・新校再編実施計画懇話会の委員構成についての質問に対し、地域の自治体や対象校の同窓会、PTA、生徒の代表等に加え、地元企業の代表者の参画を得て、目指す学校像をはじめとした新たな高校づくりの検討を行うこととしていると答弁した。
- ・不登校児童生徒への対応についての質問に対し、不登校児童生徒をチーム学校として支援するため、担任や管理職、養護教諭、教育相談コーディネーターはもとより、必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家も加えた支援会議を開催し、個々の児童生徒に応じた支援方針や支援内容を協議・決定し支援を行っているとの答弁した。

4 文教委員会における質疑の概要及び請願・陳情の審査について

(1) 主な質疑項目

- ・第4次長野県教育振興基本計画について
- ・高校改革 再編・整備計画【三次】(案)について
- ・非違行為の根絶について
- ・学校における働き方改革について
- ・発達障がいのある児童生徒への支援等について
- ・インクルーシブ教育について
- ・全国学力・学習状況調査の事前対策について
- ・児童生徒の問題行動・不登校等について
- ・学級閉鎖等の条件緩和について
- ・部活動の地域移行について

(2) 主な議論の内容

- ・第4次長野県教育振興基本計画について、ウェルビーイングやVUCAなどの横文字は県民に分かりにくいのではないかという意見が出され、言葉の意味や趣旨について、計画本文や動画等の中で丁寧に説明し理解を深めていきたいと説明した。
- ・高校改革 高校再編・整備計画【三次】(案)について、建設業協会等と今後の専門学科をどのようにするなどについて意見交換する場を設けていく必要があるのではないかという意見が出され、専門学科の学びは重要と認識しており、今後も産業界と懇談の機会を設けるなど意見を伺いながら対応していくと説明した。
- ・このほか、部活動の地域移行、学校における働き方改革などについても、様々な意見が出された。

(3) 請願・陳情の審査

請願 4件(うち新規0件) 採択0件、継続審査4件、不採択0件
 陳情 52件(うち新規22件) 採択9件、継続審査42件、不採択1件